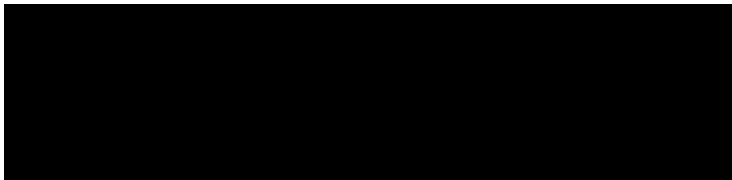
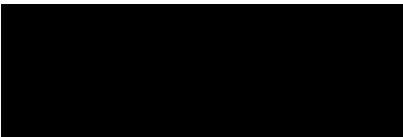
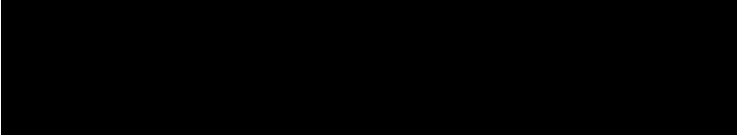



2022年3月25日

アダージキャピタル有限責任事業組合 御中
株式会社シンシア工務店 御中


株式会社三ツ星 代理人 


株式会社三ツ星 代理人 

ご連絡

アダージキャピタル有限責任事業組合（以下「**貴組合**」といいます。）は、当社に対し、2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」及び同年3月16日付「条件付株主名簿閲覧謄写請求書」を送付し、同年3月7日付で臨時株主総会招集許可申立てを行っており、また、貴組合の組合員（以下「**貴組合員**」といいます。）である株式会社シンシア工務店（以下「**貴社**」といい、貴組合と個別に又は総称して、「**貴組合ら**」といいます。）は、2022年3月11日から同月15日にかけて大量保有報告書、変更報告書及びその訂正報告書を提出し、「経営参画、長期保有」目的で当社株式を保有されております。

しかしながら、当社は、貴組合らが当社株式を買付けた理由等については一切説明を受けおらず、それどころかむしろ、貴組合らは、当社の現行役員に対して誤った事実関係の認識に基づく批判を行い、解任を訴え、経営陣の刷新を求める等、合理的とは言えない主張・提案を行われており、当社としては、貴組合らが当社に対してどのように「経営参画」をされるご意向なのか、貴組合らの「経営参画」が当社の企業価値ないし株主共同の利益に資するのか否かの判断ができない状況にあります。

また、当社及び当社グループ会社の顧客、取引先、従業員等のステークホルダーからも、貴組合らの当社株式買集めの意図及び貴組合らの提案する経営陣に刷新された後の当社の経営方針については、非常に多くの懸念・疑問や否定的なご意見を頂戴しております。それにもかかわらず、貴組合らが当社へ経営参画することは当社の事業・ビジネスに対しマイナスの影響を与える可能性が極めて高いと考えております。

以上のような状況に照らし、当社は、貴組合らに対し、当社取締役会の判断材料としてみならず、当社及び当社グループ会社のステークホルダーへのご説明並びに臨時株主総会に向けて株主の皆様のご判断に必要な情報の提供を求める趣旨で、添付別紙に記載する事項について質問致しますので、ご回答くださいますよう、宜しくお願いします。

2022年3月16日付書面にて、貴組合から当社株主名簿閲覧謄写に係るご要望を頂戴しておりますが、その回答をする前提として、当社としても、貴組合の株主名簿閲覧謄写の目的（請求の理由）を正確に把握する必要があると考えております。つきましては、貴組合から本書記載の質問事項に対して真摯にご回答いただき、加えて、一定の事項を誓約した書面（以下「本誓約書」といいます。）をご提出いただくことを条件に、貴組合の株主名簿閲覧謄写に係るご要望に対して任意に応じる方向で検討させていただきます。本誓約書については、本書記載の質問事項について、貴組合らから真摯なご回答をいただけたと当社にて判断した場合、貴組合らに対して提示させていただきます。

以上

(別紙)

アダージキャピタル有限責任事業組合及び 株式会社シンシア工務店に対する質問事項

1. 貴組合らの詳細と、貴組合らの投資実績について、以下の点をご教示ください。

(1) 当社において、当社及び当社グループ会社のステークホルダー並びに株主の皆様への説明責任を果たすべく、**貴組合ら**に関し調査を行いました。その実態（実質的な支配者、資金力・資金源等）については明らかになっておりません。そこで、貴組合らの提案（貴組合の当社株主名簿閲覧謄写に係るご要望を含みます。）を判断する大前提として、貴組合らに関する以下の基本的な事項についてご教示ください。

- 貴組合らの組織図、出資構成（株主、出資者）及び資金力・資金源等の裏付けとなる事実をご教示ください。
- 貴組合員の変遷として、2021年7月28日に海容 JAPAN 株式会社（職務執行者内田俊夫氏）が脱退、2022年2月22日に貴社（職務執行者**矢島慎二氏**）が回復（2022年2月14日に一度脱退）、2020年7月31日に株式会社和円商事（職務執行者荒井正志氏）（以下「**和円商事**」といいます。）が脱退（2019年11月22日に加入）、2022年2月14日に崔正氏が脱退（2021年9月8日に加入）、2022年2月7日に成田帝氏が加入、2022年2月10日に濱本翔太氏が加入されております（以下、貴組合らに加え、過去又は現在貴組合員（職務執行者も含みます。以下同じ。）であるもの並びに組合員が法人である場合はその役員及び株主を総称して「**貴組合関係者**」といいます。）。このように、短期間で組合員が加入・脱退を繰り返している理由をご教示ください。
- 貴組合と貴組合関係者との過去及び現在のご関係について、貴組合関係者ごとにそれぞれ具体的に教示ください。
- 2020年7月から11月頃にかけて、JASDAQ スタンダード市場の上場会社である株式会社プラコー（以下「**プラコー**」といいます。）に対し、その株主であった有限会社フクジュコーポレーション（以下「**フクジュ**」といいます。）及びその関係者が臨時株主総会招集請求や株主提案をし、経営支配権を奪取する目的で、一方的かつ強圧的に経営陣を刷新（具体的には、取締役4名の解任と新任取締役5名の選任）させ、一部メディアにおいて、フクジュらによるプラコーの「乗っ取り」である等と評されている事件がございます（当該一連の出来事を、以下「**プラコー事件**」といいます。）。そして、下記で列挙する対象者については、後記理由から、**プラコー事件**におけるフクジュの関係者である可能性が極めて高く、また、貴組合らと強い関係性を有することが疑われます。

そこで、下記対象者に係る後記のご質問に対してご回答ください。

(フクジュ及び貴組合らと関係を有していると疑われる対象者)

- ① フクジュ
- ② ニューエネルギーマネジメント合同会社 (以下「ニューエネルギーマネジメント」といいます。)
- ③ 和円商事
- ④ 本多敏行氏

(フクジュ及び貴組合らと強い関係性を有していると疑われる理由)

- ・ フクジュがプラコーの経営権を獲得した後 (2021年5月頃)、プラコーは、ニューエネルギーマネジメントを割当先とする第三者割当増資を実施しております。
- ・ 和円商事は、ニューエネルギーマネジメントに対し、当該第三者割当増資の出資金 (約2億円) を貸し付けております。
- ・ 和円商事は、貴組合の元組合員であります。
- ・ 一部メディアの報道において、和円商事がフクジュに対して指示を出していると指摘するものもあり、また、プラコー労働組合が2020年10月26日にプラコー宛に提出した「臨時株主総会招集及び株主提案への反対意見表明」と題する書面によれば、フクジュ、和円商事及び和円商事の代表取締役である本多敏行氏は「実質的に共同して」臨時株主総会招集請求や株主提案を行っているといった指摘がなされております。
- ・ 本多敏行氏は、和円商事の代表取締役であると同時に、後記するとおり、個人でも当社の株主であります。
- ・ 2021年6月に本多敏行氏はプラコーの取締役に就任されております (現任)。
- ・ 以上の事実関係から、フクジュ、ニューエネルギーマネジメント、和円商事及び本多敏行氏の間には、プラコー事件において強固な関係・つながりがあることが強く認められ、また、貴組合らも、貴組合関係者である和円商事及び和円商事の代表取締役であり当社の株主である本多敏行氏を通じて、フクジュやニューエネルギーマネジメントとの間において、強い関係・つながりがあることが推察されます。

(ご質問)

フクジュ及び貴組合らと強い関係性を有していると疑われる上記対象者と貴組合らとの過去及び現在のご関係について、対象者ごとにそれぞれ具

体的にご教示ください。

- プラコー事件と類似の事件として、2020年2月から5月頃にかけて、東京証券取引所市場第2部の上場会社である北日本紡績株式会社（以下「北日本紡績」といいます。）に対し、その個人株主から臨時株主総会招集請求や株主提案が行われ、一方的かつ強圧的に経営陣の刷新（具体的には、取締役3名の解任と新任取締役5名の選任）がなされた事件がございます（当該一連の出来事を、以下「北日本紡績事件」といいます。）。そして、下記で列挙する対象者については、後記理由から北日本紡績事件における関係者である可能性が極めて高く、また、貴組合らと強い関係性を有することが疑われます。そこで、下記対象者に係る後記のご質問に対してご回答ください。

（北日本紡績事件に関与しており、貴組合らと関係を有していると疑われる対象者）

- ① ニューエネルギーマネジメント
- ② 和円商事
- ③ 合同会社サクセスインベストメント（以下「サクセスインベストメント」といいます。）
- ④ 篠原顕二郎氏
- ⑤ CMC JAPAN 株式会社
- ⑥ 本多敏行氏
- ⑦ 矢島慎二氏
- ⑧ 粕谷俊昭氏
- ⑨ 株式会社中部薬品工業（以下「中部薬品工業」といいます。）
- ⑩ HDD SINGAPORE PTE.LTD.

（北日本紡績事件及び貴組合らと強い関係を有していると疑われる理由）

- ・ 新経営体制になられた後（2021年8月頃）、北日本紡績は、令和キャピタル有限責任事業組合を割当先とする第三者割当増資を実施しており、同時期にニューエネルギーマネジメントは令和キャピタル有限責任事業組合の組合員として大量保有報告書を提出しております。
- ・ 和円商事は、ニューエネルギーマネジメントに対し、上記プラコー事件で記載したとおり、プラコーの第三者割当増資に係る出資金を貸し付けております。
- ・ 和円商事は、貴組合の元組合員であります。
- ・ 北日本紡績の筆頭株主であるサクセスインベストメントの代表社員で

ある篠原顕二郎氏が取締役を務める CMC JAPAN 株式会社には**本多敏行氏**及び**貴社**の代表取締役である**矢島慎二氏**も取締役として就任されておられます。

- ・ **本多敏行氏は、和円商事の代表取締役であると同時に、後記するとおり、個人でも当社の株主であります。**
- ・ 2020年5月に**和円商事**の元取締役（副社長）である**粕谷俊昭氏**が北日本紡績の代表取締役社長に就任されております。
- ・ 新経営体制になられた後（2020年12月頃）、北日本紡績は**中部薬品工業**をM&Aにより買収されておりますが、わずか数か月後の2020年度末決算にて中部薬品工業の株式について約27百万円の減損処理を行っております。
- ・ **本多敏行氏**は2016年10月から2019年11月まで、**中部薬品工業**の代表取締役に就任しておりました。
- ・ **中部薬品工業**の旧株主（M&Aの売主）である **HDD SINGAPORE PTE.LTD** は、貴組合の旧名称である「有限責任事業組合 **HDD** インベストメント」と酷似した商号となっております。
- ・ **HDD SINGAPORE PTE.LTD** は、**和円商事**のシンガポール支社と同一建物内に存在しております。
- ・ 以上の事実関係から、ニューエネルギーマネジメント、和円商事、サクセスインベストメント、篠原顕二郎氏、CMC JAPAN 株式会社、**本多敏行氏**、**貴社**、**貴社**の代表取締役である**矢島慎二氏**、**和円商事**の元取締役（副社長）である**粕谷俊昭氏**、**中部薬品工業**、その旧株主である **HDD SINGAPORE PTE.LTD** 及び**貴組合ら**の間には、北日本紡績事件において強固な関係・つながりがあることが強く認められます。

（ご質問）

北日本紡績事件に関与しており、**貴組合ら**と強い関係を有していると疑われる上記対象者と**貴組合ら**との過去及び現在のご関係について、対象者ごとにそれぞれ具体的にご教示ください。

- 北日本紡績事件の対象者として記載した **HDD SINGAPORE PTE.LTD** に関し、以下の事実関係が認められるところ、**HDD SINGAPORE PTE.LTD** 及び同社の投資先である五洋インテックス株式会社（以下「五洋インテックス」といいます。）に関し、後記理由から **貴組合らと強い関係性を有することが疑われます。**そこで、五洋インテックスに関する後記のご質問に対してご回答ください。

(五洋インテックス及び **HDD SINGAPORE PTE.LTD** が貴組合らと強い関係を有していると疑われる理由)

- ・ 五洋インテックスは、2020年4月頃、貴組合の旧名称と酷似する商号の **HDD SINGAPORE PTE.LTD** を割当先とする第三者割当増資を実施しております。
- ・ 当該増資のプレスリリースによれば、「シナジージェネレーションズの仲西社長と **HDD SINGAPORE PTE. LTD.**の代表 **KUANG XIAOMING** 氏とは、2018年10月頃に共通の知人である株式会社**和円商事**の**本多敏行氏**により紹介され、2019年9月頃に改めて投資対象の探索について相談されたものです。」との記載がございます。
- ・ **HDD SINGAPORE PTE.LTD** は、**和円商事**のシンガポール支社と同一建物内に存在しております。
- ・ 一部メディアの報道において、**HDD SINGAPORE PTE.LTD** が、**五洋インテックス**から第三者割当増資を引き受ける際の実質的な資金の出し手は、**和円商事**であるといった指摘もなされております。
- ・ **和円商事**は、貴組合の元組合員であります。
- ・ **本多敏行氏**は、**和円商事**の代表取締役であると同時に、後記するとおり、個人でも当社の株主であります。
- ・ 以上の事実関係から、**五洋インテックス**、**HDD SINGAPORE PTE.LTD**、**和円商事**、**本多敏行氏**及び貴組合らの間には、**五洋インテックス**に関して強固な関係・つながりがあることが強く認められます。

(ご質問)

HDD SINGAPORE PTE.LTD 及び **HDD SINGAPORE PTE.LTD** の投資先であった**五洋インテックス**と、貴組合らとの過去及び現在のご関係について、それぞれ具体的にご教示ください。

- 貴組合関係者、プラコー事件及び北日本紡績事件の対象者として列挙した個人及び法人（**五洋インテックス**を含みます。）のうち、法人については資本関係又は重大な取引関係を有するグループ会社及びその役員の名称、個人については当該個人が株主又は役員を務めている会社の名称を、それぞれ具体的にご教示ください（以下、本質問における回答の対象となる個人及び法人を総称して「**貴組合関係者ら**」といいます。）。

- (2) 貴組合らの投資先について、それぞれ会社名、主要な事業内容、役員、直近5年間の業績推移をご教示ください。

(3) 貴組合関係者らの投資先又は関係先のうち、上記(1)で記載した以下の 3 社については、特に下記点に関してご教示ください。

➤ プラコー

- ① 貴組合らがプラコーに対して、どのような形で経営参画・経営に関与されている又はいたのかについて、実態を踏まえ、具体的かつ詳細にご教示ください。
- ② プラコーと貴組合関係者らとの間で取引関係がある場合（過去あった場合も含みます。）は、具体的かつ詳細にご教示ください。
- ③ プラコーの経営体制が刷新された後（貴組合関係者である和円商事の本多敏行氏が取締役就任して以後）、同社の業績悪化と株価が低迷している事実を踏まえて、貴組合らとしてどのようなお考え（とるべき施策を含みます。）をお持ちか、具体的かつ詳細にご教示ください。 なお、参考までに同社の業績を以下に記載いたします。

（ご参考情報）

- ・ プラコーが、経営陣の刷新後、2021年8月に公表した中期経営計画ではプラスチック成形機事業に並ぶ事業の柱としてリサイクル事業及びその関連事業の2事業を育てていくことを表明しておりますが、両事業に関し、その後目立ったアクションとして外部から確認できる事項はございません。その結果、リサイクル事業は2022年3月期の売上目標5億円に対し第3四半期時点で売上高73百万円と、業績未達が懸念される状況にあります。
- ・ 既存事業の販売高状況についても、2022年3月期第3四半期終了時点でインフレーション成形機事業が前年比40.5%減、ブロー成形機事業が前年比24.2%減と、大幅に前年度及び中期経営計画上の数値を割り込む状況となっております。
- ・ 結果、全社の期初通期予想に対する進捗率は2022年3月期第3四半期終了時点で売上高が42.0%、営業利益が15.0%となっております。3月24日時点での株価は320円（分割調整後）と、現体制への移行（経営陣の刷新）がなされた2020年11月6日終値498円から35.7%下落しております。

➤ 北日本紡績

- ① 貴組合らが北日本紡績に対して、どのような形で経営参画・経営に関与されている又はいたのかについて、実態を踏まえ、具体的かつ詳細にご教示ください。

- ② 北日本紡績と貴組合関係者らとの間で取引関係がある場合（過去あった場合も含みます。）は、具体的かつ詳細にご教示ください。
- ③ 北日本紡績の経営体制が刷新された後（貴組合関係者である和円商事の元取締役（副社長）である粕谷俊昭氏が代表取締役社長に就任して以後）、同社の業績悪化と株価が低迷している事実を踏まえて、貴組合らとしてどのようなお考え（とるべき施策を含みます。）をお持ちか、具体的かつ詳細にご教示ください。 なお、参考までに同社の業績を本質問項目の最後に記載いたします。
- ④ 北日本紡績が立ち上げたリサイクル事業について、本業とのシナジーが存在しない事業領域かと考えられますが、こうした事業展開について、どのようなお考えをお持ちか、具体的かつ詳細にご教示ください。
- ⑤ 中部薬品工業の買収・M&Aに係る（不透明な）経緯と買収後間もないタイミングでの減損による株式価値の毀損（詳細は上記(1)で記載）、及びこれらの一連の取引に貴組合関係者である和円商事の本多敏行氏が関与していることについて、どのようなお考えをお持ちか、具体的かつ詳細にご教示ください。

（ご参考情報）

- ・ 北日本紡績は、経営陣の刷新後、リサイクル事業及びヘルスケア事業を新たに設立しましたが、既存事業である紡績糸の製造・販売とは関係性が薄い分野であると理解しております。
- ・ 足元の業績を見ると、2022年3月期第3四半期時点の営業利益は85百万円の赤字と、前年同期（当期は非連結決算）比で赤字幅が拡大しております。
- ・ 新規事業を見ても、ヘルスケア事業、リサイクル事業を含むその他事業とともに赤字を計上しております。3月24日時点での株価は136円（分割調整後）と、現体制への移行（経営陣の刷新）がなされた2020年5月1日終値269円から49.4%下落しております。

➤ 五洋インテックス

- ① 貴組合ら及び **HDD SINGAPORE PTE.LTD.**（五洋インテックスの株式を最大7.1%保有していた当時の大株主）が、五洋インテックスに対して、どのような形で経営参画・経営に関与されている又はいたのかについて、実態を踏まえ、具体的かつ詳細にご教示ください。
- ② 五洋インテックスと貴組合関係者らとの間で取引関係がある場合（過去あった場合も含みます。）は、具体的かつ詳細にご教示ください。

③ 五洋インテックスは内部管理体制上の問題（公表資料における虚偽記載、取締役会の機能不全等）を理由として、2021年7月に上場廃止になっております。貴組合ら及びHDD SINGAPORE PTE.LTD.は、内部管理体制上の係る問題を改善できず、同社が上場廃止になってしまったことについて、どのようなお考えをお持ちか、具体的かつ詳細にご教示ください。

(4) 貴組合らにおける投資先の選定プロセス、投資の意思決定プロセス、想定投資利回り、投資回収期間、議決権行使方針、Exit方法について、過去の貴組合らにおける行動・投資実績を踏まえて具体的にご回答ください。

2. 貴組合らの外部関係者について、以下の点をご教示ください。

(1) 貴組合らが当社株式を買い集めるにあたって、共同ないし協調して行動する者、実質的利害を共通にしている者（以下「協動的買付者」といい、貴組合関係者らを含みますが、これに限られません。）がいる場合、その名称と貴組合関係者らとの関係性を具体的にご教示ください。

(2) 貴組合の提案する当社新任取締役候補者であり、貴組合員である濱本翔太氏は、当社株主である株式会社エコリーフの代表取締役を務めておられますが、貴社の提出した当社株式に係る大量保有報告書及び変更報告書上、共同保有者として記載されておりません。当該理由を、詳細にご教示ください。

(3) 2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」において、新任取締役候補者としての濱本翔太氏の略歴及び重要な兼職状況として、株式会社エコリーフの代表取締役を務めている事実を記載しなかった理由についてご教示ください。

(4) 貴組合員である貴社の代表取締役を務める矢島慎二氏は、貴組合関係者である株式会社和円商事の取締役も兼任しているところ、和円商事の代表取締役である本多敏行氏は、個人でも当社株主であります。貴社の提出した大量保有報告書及び変更報告書上、本多敏行氏が共同保有者として記載されていない理由を、詳細にご教示ください。

3. 大量保有報告書、変更報告書及び訂正報告書の提出経緯及び記載内容に関し、以下の点をご教示ください。

(1) 貴社の提出した当社株式に係る大量保有報告書の報告義務発生日が、2021年9月16日であり、また、変更報告書No.1の報告義務発生日が同月29日であるにもかかわらず、いずれの提出も2022年3月11日となった理由・経緯をご教示ください。

(2) 貴社の提出した変更報告書No.2の報告義務発生日が2022年2月22日であるにもかかわらず、その提出が同年3月15日となった理由・経緯をご教示ください。

- (3) 貴組合は、当社に対し、2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」を送付していることから、少なくとも2022年2月22日には、当社株式保有目的が「経営参画、長期保有」であったことは客観的にも明白ですが、それにもかかわらず、2022年3月15日まで、当社株式保有目的の変更報告書を提出しなかった理由をご教示ください。
- (4) 貴社は、①2022年3月14日に変更報告書No.1の訂正報告書を提出し、保有目的を「純投資」から「経営参画、長期保有」に訂正し、②同月15日に大量保有報告書及び変更報告書No.1の訂正報告書を提出し、保有目的を「経営参画、長期保有」から「純投資」に訂正し、③同日に変更報告書No.2を提出し、保有目的を「経営参画、長期保有」に変更されております。このような訂正・変更を繰り返される理由について、ご教示ください。
- (5) 当社の2021年9月30日現在の株主名簿においては、有限責任事業組合HDDインベストメント及びその組合員であった海容JAPAN株式会社の合計株券等保有割合は5.2%でしたが、貴社の変更報告書No.1（報告義務発生日は2021年9月29日）では株券等保有割合が6.16%となっております。株券等保有割合の数値が異なっている理由についてご教示ください。
- (6) 貴社の提出した変更報告書No.1（報告義務発生日は2021年9月29日）では株券等保有割合が6.16%であったのに対し、変更報告書No.2（報告義務発生日は2022年2月22日）では株券等保有割合が6.34%に増加しており、この間に貴組合は当社株式を追加で取得されたものと理解しております。当該株式取得の手法、時期及び金額についてご教示ください。
- (7) 貴社の提出した大量保有報告書及び変更報告書の「当該株券等に関する担保権等重要な契約」欄の記載として、信用取引による買建てをされている旨の記載がございませんが、信用取引はされていないという理解でよいのでしょうか。されている場合は、当該項目において、その点の記載をされていない理由についてご教示ください。
- (8) 貴社の提出した変更報告書No.1の「当該株券等の発行者の発行する株券等に関する最近60日間の取得又は処分の状況」に記載されている増減履歴と、2022年2月22日付け個別株主通知の増減履歴とが相違しておりますが、その理由についてご教示ください。
- (9) 貴社の提出した当社株式に係る大量保有報告書、変更報告書及びこれらの訂正報告書によれば、貴組合らは2021年7月30日から9月16日にかけて当社株式を63,900株取得しておりますが、この期間中に当社の出来高が従来に比して極めて大きくなっております。具体的には2021年7月30日から9月16日における平均出来高は38,973株でございました。この出来高はそれ以前の1年間（2020年7月30日から2021年7月29日）の平均出来高2,663株、その後から現在（2021年9

月 22 日から 2022 年 3 月 24 日) の平均出来高 4,991 株と比較しても極めて不自然であると考えられます。さほど流動性のない当社株式を貴組合らが市場内で買付けた取引は極めて不自然で、協調的買付者が貴組合らの買集めに先行して当社株式を取得し、2021 年 7 月 30 日以降にこれらを貴組合らが取得したと考えざるを得ません。当社株式の売買状況について、詳細かつ具体的にご説明ください。

4. 当社株式の買集めの目的及び経営参画の内容、Exit 手法及び時期に関し、以下の点をご教示ください。

- (1) 貴組合らは、事前連絡なしに当社株式の買集めを行っており、本日に至るまで、貴組合らの買集めの目的及び貴組合らの考える「経営参画」の具体的内容についても一切の説明がございません。それどころかむしろ、貴組合らは、当社の現行役員に対して誤った事実関係の認識に基づく批判を行い、解任を訴え、経営陣の刷新を求める等、合理的とは言えない主張・提案を行われております。そこで、貴組合らが当社株式を買い集める目的及び貴組合らの考える「経営参画」の具体的な内容について、当社の株主の皆様に必要なかつ十分な情報提供を行う観点から、詳細かつ具体的にご教示ください。
- (2) 貴組合らの考える当社の①経営方針、②事業計画・投資計画 (M&A を含みます。)、③財務計画、④資本政策、⑤配当政策等があれば、それらも詳細かつ具体的にご教示ください。
- (3) 貴組合は、2022 年 2 月 22 日付「臨時株主総会招集請求書」において、当社が保有する現預金を用いて事業投資すること等により事業収益に繋げることができていない、潤沢な現預金を活用して従来の事業を尊重しつつ、新たな挑戦 (新製品の開発を含めた新たな事業投資や M&A 等) を開始して、事業収益の拡大を図るべき等と繰り返しご主張されていますが、貴組合らのご想定される新製品の開発、事業投資及び M&A 等の具体的な内容について、詳細にご教示ください。
- (4) 貴組合らが、当社に経営参画した後に想定している当社及び当社グループ会社の顧客、取引先、従業員等のステークホルダーとの関係に関し、ご想定されている事項 (当社の事業に与える影響及びステークホルダーに対しどのような形で説明責任を果たすご想定か等) について、詳細かつ具体的にご教示ください。
- (5) 協調的買付者が、当社株式の買集めを更に進める意向があるのであれば、その買付け手法及び目指す最大買付け比率についてご教示ください。
- (6) 貴組合らが考える Exit 手法及び時期についてご教示ください。
- (7) 当社の出来高も踏まえすと、貴組合らの買集めに伴う相場急騰により、当社の株主には一種の強圧性 (貴組合らの経営参画後の不確実性やダウンサイドリスクを嫌気して、本意ならず急騰した相場水準にて株主が売り急ぎを迫られること) が生じることも想定されますが、この点についてどのようなお考えをお持ちか、ご教示

ください。

5. 当社現行役員解任及び新任役員候補の選任に関して、以下の点をご教示ください。
- (1) 貴組合らは、2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」において、当社の業務執行取締役3名全員（競良一氏、松山元氏、前田康智氏）の解任を求め、他方で、青木邦博氏、濱本翔太氏、吉永久三氏を新任取締役（監査等委員である取締役を除く）候補者（以下「本件取締役候補者」といいます。）としてご提案されておりますが、本件取締役候補者は、いずれも当社の主要事業である電線事業の知見が全くございません。それにもかかわらず、現行の業務執行取締役を解任し、貴組合らが本件取締役候補者によって経営参画できると考えている理由をご教示ください。
 - (2) 仮に貴組合らの考える役員体制になった場合、どのような経営方針をとり、当社の企業価値を向上させるかについて、貴組合らの想定する施策・計画等を詳細かつ具体的にご教示ください。
 - (3) 協調的買付者と本件取締役候補者との関係を、本件取締役候補者ごとに具体的にご教示ください。
 - (4) 青木邦博氏について以下の点をご教示ください。
 - 2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」記載の略歴等によれば、同氏については、「2004年中山DIC色料有限公司に董事長として出向」後、現在に至るまで約18年間のご経歴の記載がございません。貴組合らにおいて、この間（とりわけ直近5年間）のご経歴をご確認いただき、当社業務執行取締役としてふさわしいとお考えになる理由を、ご経歴を踏まえて詳細かつ具体的にご説明ください。
 - (5) 濱本翔太氏について以下の点をご教示ください。
 - 2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」記載の略歴等によれば、同氏は、株式会社HAMAX代表取締役に就任されておられ、また、株式会社エコリーフの代表取締役も兼務されていることを確認しておりますが、同氏について、貴組合らがAI、IOT、SDGsのご知見を有していると考えられる理由を、詳細かつ具体的にご説明ください。
 - 株式会社HAMAXと株式会社エコリーフの売上・従業員数等をご確認いただき、従業員200名以上を有する上場企業である当社業務執行取締役としてふさわしいとお考えになる理由を、詳細かつ具体的にご説明ください。
 - (6) 吉永久三氏について以下の点をご教示ください。
 - 同氏の顧問先等の重要な兼職の有無をご確認いただき、当社社外取締役としてふさわしいとお考えになる理由を、詳細かつ具体的にご説明ください。
 - (7) 渡邊雅之氏について以下の点をご教示ください。
 - 2022年2月22日付「臨時株主総会招集請求書」記載の略歴等によれば、同氏

については、弁護士法人三宅法律事務所パートナー、政府・特定複合観光施設区域整備推進課異議委員、日特建設株式会社社外取締役、株式会社広済堂ホールディングス社外取締役、株式会社代々木アニメーション学院社外取締役の5件の重要な兼職がある旨を確認しております。貴組合らにおいて、5件の重要な兼職先について、取締役会出席回数や委員会等の必要会議体への出席回数等をご確認いただき、同氏が、当社社外取締役としてふさわしいとお考えになる理由を、詳細かつ具体的にご説明ください。

6. 臨時株主総会における委任状勧誘のご予定について、以下の点をご教示ください。

- (1) 貴組合らは臨時株主総会において委任状勧誘をされるご予定があるとの理解でよろしいでしょうか。
- (2) 上記回答が「はい」の場合、当社株主への委任状勧誘に際して、議決権行使促進やアンケートへの協力等を名目とし、電話番号等の個人情報を入手・取得する目的・意図で、クオカード等の金品に相当し得るものを配布する案内を行う予定がございましたでしょうか。

以上